第4分野 香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち

基本方針5

郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを考え行動する「郡上学」を推進します

事業年度	令和5年度
責任部長	市長公室長
責任課長	政策推進課長
責任課	政策推進課
主管課・関係課	政策推進課、学校教育課、社会教育課、

■施策の概要

施策1:総合的な郡上学の推進

【主管課:市長公室 政策推進課】

市民が郡上の自然、歴史、文化、産業などの特色や価値の理解を深め、地域の伝統的な行事、伝統芸能の保存と伝承に寄与する活動などに積極的に取り組めるよう、生きがいと希望に満ちたまちづくりを進めるとともに、次代を担う人材を育てる必要があります。そのため、地域での体験や講座等を通してふるさとを深く学ぶ「郡上学」を推進します。

施策2:「子どものための郡上学」の実践

【主管課:教育委員会事務局 学校教育課】

郡上の豊かな自然や文化、それに携わる地域の人と出会う学習を通して、ふるさとの自然や文化、人の素晴らしさを実感し、郡上で育ち、暮らしてきたことに愛着と誇りをもてるような教育を進めます。そして、将来、郡上で暮らすことになろうが、郡上を離れることになろうが、郡上について学んだことが、その子にとっての財産となるような「郡上学」を推進します。

■関連指標の動向

指標名	単位	管理種別	望ましい方向	関連施策	現状値	各年度の目標値(上段)					評価年度の達成率
					(R1)	各年度の実績値(下段)					
						R3	R4	R5	R6	R7	
▶ 自分の住んでいる地域に誇りを感じている市民の割合(まちづくりアンケート)	%	フロー	↗	施策1	54.0 (R2)	-	-	57.6	-	60.0	85.4%
▶ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	%	フロー	↗	施策2	小 55.1	58.0	60.0	62.0	64.0	65.0	141.5%
					中 53.2	47.6	49.2	87.7			
						58.0	60.0	62.0	64.0	65.0	124.0%
						58.6	51.4	76.9			
▶											
▶											

■決算データ及び構成事務事業の実施状況

施策名	R4決算額(千円)	R5決算額(千円)	構成事務事業の実施状況(R5)					
			a	b	c	d	-	小計
1 総合的な郡上学の推進	827	894	0	1	0	0	0	1
2 「子どものための郡上学」の実践	18,384	21,936	0	2	0	0	0	2
小計	19,211	22,830	0	3	0	0	0	3

- a: 順調に実施されており、成果が表れている事務事業
- b: 概ね順調に実施されており、一定の成果が表れている事務事業
- c: 概ね順調に実施されているものの、目指す成果が表れていない事務事業
- d: 実施状況及び目指す成果ともに停滞している事務事業

■基本方針に係る総括評価(所見)

【責任部長:市長公室長】

基本方針に掲げる「郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを考え行動する郡上学を推進する」ため、総合的な郡上学の推進(地域や市全体で進める郡上学)と、子どものための郡上学の実践(学校で進める郡上学)の2つの施策を柱として取り組みを行っている。はじめに総合的な郡上学の推進について。郡上の歴史や企業見学など地域資源をテーマにした講座の開催、郡上かるた大会の開催などによって学びの機会を提供し、多くの市民に参加いただいたことで「郡上のこれまでと今を学ぶ」ことについては一定の成果があったものと考ええる。これらの学びを「行動する」ことにつなげていくため、これからも様々な「仕掛け」が必要であると考えている。次に子どものための郡上学の実践について。小・中学校ともに、各校で地域の個性を生かした体験学習が行われ、郡上を知り地域とのつながりの大切さを理解する良い機会になっている。中学校では主体的に地域づくりについて考えようとする生徒が増えているとの評価もあり、取り組みの一つの成果と捉えている。郡上の将来に向かって行動する人を増やしていくために、今後も他の施策と連携しながら当施策を展開していきたい。

■施策ごとの評価

施策1:総合的な郡上学の推進

【主管課:市長公室 政策推進課】

評価

B

目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

▶後期基本計画策定時の「現状と課題」

郡上の自然、歴史、文化、産業などを学ぶ「郡上学」を推進するためには、地域人材の活用による公民館活動などの一層の充実が求められています。

◎後期基本計画策定時の「目指す姿」

郡上のことを学び考えることで、地域資源を活用した活動が活発化し、郡上に誇りをもっている「郡上人」が育っています。

I 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

- 郡上かるたの詠み札にある篠脇城跡、八幡城跡、はごこウォッチングなどの現地体験型の講座や、風流踊、古文書講座など座学の講座等、郡上学歴史文化講座を11講座(延べ参加者367人)、郡上学地域講座を5講座実施(延べ参加者137人)し、地域の歴史や魅力を再認識してもらうことができた。
- 郡上かるた大会には小学生から大人まで121チーム355人(R4年度比125%)が参加し、郡上を知るきっかけや将来の郡上市のことを共に考えていく人同士がつながるきっかけとなった。

【課題】

- 郡上市の歴史文化等を伝える人材が高齢化等により減少しているが、歴史文化等の講座参加者の年齢層も高齢者が多いため、より若い世代にも興味を持ってもらえる講座の企画をし、継承と人材の発掘及び育成が必要である。
- 歴史や文化の講座だけでなく、広く「ふるさと郡上」を知るための産業や人材などの新たなテーマの発掘が必要である。

II 今後の方向性と具体的な展開

- 「ふるさと郡上」を誇りに思う人材を育成するため、郡上を深く学ぶ新たなテーマでの講座を開催する。
- 郡上で活躍する若者の活動をピックアップし、今後の発展や次世代への継承を促すため、小中高校生に向けた講座やイベントを検討する。

評価

B

目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

▶後期基本計画策定時の「現状と課題」

小・中学校で、各地域の特色を土台とした郡上学が実践されています。これからも地域を深く知り、地域の住民と関わりながら学ぶ学習を積み重ね、地域に愛着と誇りをもち、地域のこれからの考え、行動できる「郡上人」の育成が求められています。

◎後期基本計画策定時の「目指す姿」

子どもたちが地域に愛着と誇りをもち、地域のために自らできることを考え、行動することができています。

I. 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ禍前と同じように活動、行事に取り組めるようになり、郡上の自然を体験する活動を実施したり、地域の人材を活用した学習を進めることができた。[例 カワゲラウォッチング、アユの友釣り、郡上おどり・白鳥おどりを保存会の方から学ぶ]
- ・中学校では、多くの学校が「地域に誇れる学校づくり」をテーマとして生徒会活動に取り組み、webで各校の実践についての交流をしたり、生徒会交流会に参加した。また、「総合的な学習の時間」において、より良い地域(町)にするためには何をすべきかを考えるなど、主体的に地域づくりについて考えようとする生徒が増えてきている。

【課題】

- ・「子どもたちが郡上の魅力を体験し、地域に対する愛着と誇りをもち」というねらいを十分達成しているか検証し、必要に応じて更なる改善を図っていく必要がある。

II. 今後の方向性と具体的な展開

- ・学校運営協議会との連携を密にしてこれまで以上に学校・地域間の連携を進めたり、見直した活動がねらいを十分達成しているか検証し改善を図っていくことで、各校が地域の良さを実感することのできる学習活動や体験活動等を充実させていく。
- ・夢づくり教育事業を継続して実施することで、地域の特色を生かした教育を推進する。各校の実践を紹介したり交流したりすることで、有益な情報を共有し、魅力ある教育活動を広めていく。

■後期基本計画策定後新たに生じた課題等

- ・総合計画策定当初に実施していた「郡上学総合講座」については、郡上市の将来を担う人材を育成していくことや、中高生のキャリア形成につながることを重視した取組みへと再構築し「ひと・まちづくり推進事業」として事業推進している。「これからの郡上を考え行動する郡上学」がベースとなったものではあるが、まちづくりの要素を多様に含んでいることから第5分野の施策としているため、施策1「総合的な郡上学の推進」には、政策推進課が所管する予算事業はない。

■関連する個別計画の有無

有

第2次郡上市教育大綱、郡上市教育振興基本計画(第3期)